

# 平成30年度 古府小学校の教育



教育目標

「豊かな心を持ち、たくましく生きる子供の育成」  
— 正しくあれ やさしくあれ 強くあれ —

【目指す子供像】 考える子  
【重点目標】

やさしい子

きたえる子

考えを深め  
発表する子

思いやりの心を  
形にする子

じょうぶな身体を  
つくる子

学校経営の方針

安全で安心して活動できる教育環境を整えます。

- ・報告、連絡、相談体制の一元化を図り、迅速な対応に努めます。また、信頼を礎とする協働体制の下、チームとして課題の取り組むことで、いじめや事件・事故の未然防止・早期解決を図ります。
- ・互いを認め支え合う人間関係づくりを推進するとともに、進んで挨拶をする、気持ちのよい言葉遣いをするなど、潤いのある教育環境を創ります。

学習意欲を高めるとともに、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図ります。

- ・子供自らが発言する機会や子供同士が関わり合う機会を意図的・計画的につくることで、主体的・協働的に学習に取り組む習慣を身に付けさせます。
- ・授業中はもちろんのこと、「さくらタイム」を活用するなどして、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、活用する力の育成に努めます。
- ・ICT機器の活用を進め、具体を示して内容の「見える化」を図ります。
- ・考える道徳の授業を取り入れ、子供たちの道徳力を育みます。
- ・読書活動の充実を図り、生涯を通して学び続ける基礎を築きます。
- ・子供一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進に努めます。

「いのちの教育」を基盤とし、自他を大切に作る豊かな心を育てます。

- ・全教育活動を通して、子供一人一人が、力を発揮できる場、互いのよさを認め合う場を設定し、自己肯定感を高めます。
- ・福祉・ボランティア活動、自然体験活動等を推進し、他を思いやり共に生きようとする態度、美しいものに感動する心を育てます。

児童の健康増進と体力の向上を図ります。

- ・心身の健康について学ぶ機会を充実させ、家庭・地域と連携して望ましい食習慣や生活習慣を身に付けさせます。
- ・運動の楽しさを知り、進んで体力づくりに取り組もうとする態度を育てます。

保護者や地域の信頼に応える学校づくりを推進します。

- ・学校や子供たちの活動状況を積極的に伝え、保護者、地域の皆様の願いを、できる限り教育活動に反映させ、地域ぐるみで児童の健全育成に努めます。
- ・古府小学校の特色を強みとし、地域の特色や人材を生かした地域学習をより充実させ、ふるさと古府への愛着と誇りを育みます。